



*夢風カラー版(PDF ファイル)→ <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp/>
ご意見・ご感想(電子メール)→ yumekaze@toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp

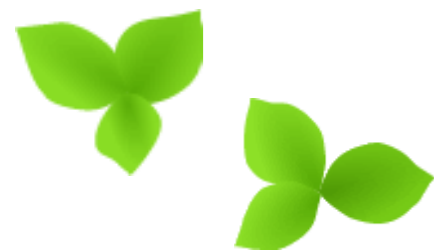


ニュース News

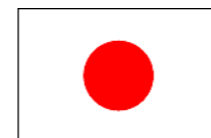
6 月の 15~17 日、学校祭が行われました。今年は、天候にも恵まれ、テーマである「ひとつなぎの友情」にそって生徒たちの心が一つとなり、その結果、内容も昨年以上にレベルアップされ、生徒たちの力が見事に結集された学校祭となりました。初日は、3 年生の舞台発表の熱演など盛り上がりのスタートとなりました。また、姉妹校であるパスコベール高校(オーストラリア)の歓迎セレモニーもありました。

2 日目に行われた文化部の舞台発表、各委員会の発表、1、2 年生のクラス発表も各クラスが趣向をこらし、長蛇の列ができるなど大盛況でした。有志発表は、今年からオーディションを実施し、選ばれた 5 グループによる熱のこもった演奏が繰り広げられました。午後に行われた芸術観賞会は、ア・カペラグループ SOLZICK のパワフルなステージと、その完璧なハーモニーに会場は魅了され、熱気と歓声が溢れました。

最終日の体育大会は、朝から暑い日差しの中、生徒たちの熱い声援がグラウンドに響きわたり、クラス、団のチームワークがおおいに発揮された 1 日でした。パスコベール校の生徒たちも参加し、応援の審査にも加わりパスコベール賞を選出してもらいました。



6 月 15 日~23 日にかけて、姉妹校であるオーストラリアの Pascoe Vale Girls College 代表団が本校を訪問されました。ちょうど学校祭の時期に当たり、訪問団も参加しました。国際交流委員の案内で展示を見たり、体育的行事では即興のチアリーディングも披露してくれました。学校祭はパスコベール訪問団にとって大変印象深いものになったようです。



学校祭後は本校の授業に参加し、彼女たちは用意してきたオーストラリアの見所や学校生活などについてのプレゼンテーションを日本語で行いました。調理実習にも参加し、日本の食べ物を実際に作り、試食をしました。また、部員に教えてもらいながら、弓道、書道、箏曲なども体験しました。さらに、能楽堂などの市内散策、トヨタ会館等の見学、京都への小旅行などもし、日本文化に親しみました。

最後の夜に行われた送別パーティでは、それぞれドレスアップし、アトラクションでは素晴らしい歌声を披露してくれました。日本語と英語が飛び交うパーティは盛り上がり、最後は誰もが立ち去りがたく、名残なきぬものとなりました。

名古屋駅へ送っていく最後の日は、訪問団も本校のホストファミリーも涙なしでは見送れませんでした。言葉でのやりとり以上に心を通わせ合う高校生たち。今年で 18 年を迎えた姉妹校交流は、両者の笑顔と涙があふれる実り多きものでした。



部活動の風景 Scenery of Club Activities

今回は、卓球部を紹介します。豊田東高校卓球部は、1、2 年生部員、男子 4 名女子 16 名で活動しています。男女一緒に活動している数少ない運動部の 1 つです。顧問の口癖「卓球部は学校生活のオアシスであれ(たとえ他の場所で嫌なことや悩みがあっても、卓球部に来るとほっとするという意味)」を守っているのか、部員同士の仲はととてもよく、先輩と後輩、男子と女子の垣根が低すぎるのが、やや欠点かもしれません。かといって練習は一生懸命で、平日は 5 日間、土曜日にもほぼ毎週練習しています。大会は年に 7~8 回、練習試合も近隣の高校とだけでなく、名古屋や東三河の高校とも行っています。昨年後半からの戦績は 11 月の新人大会女子団体県大会出場。

5 月の総体予選女子シングルス 1 名、女子ダブルス 1 組県大会出場。6 月の国体予選女子シングルス 5 名、男子シングルス 1 名県大会出場など、女子はここ数年安定した実績を残しています。男子についても、今回初の県大会選手が生まれ着実に力をつけています。ただ今年、男子の新入部員がゼロだったため、今までの躍進の流れが途絶えることが心配です。今後は今まで以上に練習を重ね、団体戦で常時県大会に出場し、私学の強豪校とも互角以上に戦える実力をつけたいと部員全員が燃えています。

